

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

天文のまちあさくちまち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

岡山県浅口市

3 地域再生計画の区域

岡山県浅口市の全域

4 地域再生計画の目標

本市は、瀬戸内海に面した岡山県の南西部に位置し、総面積は66.46km²と県内で最もコンパクトな市である。地勢においても北の遙照山系から南の瀬戸内海まで多様であり、気候は温暖少雨で過ごしやすく、自然条件に恵まれている。こうした好条件のもと地域資源も豊富であり、生産量日本一の手延べうどんをはじめとする手延べ麺や、備中杜氏が醸し中国地方有数の生産量を誇る日本酒、瀬戸内海に面する寄島漁港で水揚げされる鮮魚や養殖カキ、当地を発祥とし多くの参拝客が訪れる金光教本部など、特徴的な観光・地域資源を有している。また、50年以上前に設置されこれまで国内のみならず世界の天文観測をリードしてきた国立天文台188cm反射望遠鏡や、最新鋭の望遠鏡を備え今後の観測が大いに期待される京都大学岡山天文台、国立天文台と同時期に開設され長年地域に親しまれてきた天文博物館など、多くの天文関連施設も有している。

市中央部を山陽自動車道や国道2号、JR山陽本線、山陽新幹線などの基幹的な交通軸が通っており、住環境にも恵まれている。

そうした中、本市の人口は平成7年の38,595人以降減少が続いており、平成27年には34,235人（平成27年国勢調査結果）と20年間で4,300人程度減少している。国立社会保障・人口問題研究所によると、2060年の人口は2015年の34,235人から16,956人まで減少することが見込まれている。

自然動態として、出生数については2014年から2018年にかけて年間180人前後で推移しており、大きな変動は見られない。合計特殊出生率については2013年から2017年にかけて全国水準や県水準を下回る1.30前後で推移している。死亡数については2014年から2018年にかけて年間480人前後で推移している。2018年でマイナス328人の自然減少となっており、このマイナス幅は拡大傾向にある。

社会動態として、転入については2014年から2018年にかけて年間800人程度、転出については800～900人程度となっており、2018年では10人の転入超過となっている。転入・転出といった移動の特に多い年代は、男女ともに20～39歳であり、進学・就職や結婚等のライフイベントに伴う移動と考えられる。転入元・転出先については各年代ともに倉敷市が最も多く3～4割程度を占めている。

人口の減少は出生数の減少や進学・就職や結婚等のライフイベントに伴う若年層の転出超過による少子高齢化が大きな原因と考えられる。こうした少子高齢化を背景とした人口構造の変化や人口減少は、本市における経済活動やコミュニティ活動等の活力を衰退させ、ひいては安定した生活・暮らしそのものの存立を脅かす事態となることが危惧されている。

これらの課題に対応するため、次の事項を基本目標として掲げ、市民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、自然増につなげるほか、移住・定住施策を促進するため、安定した雇用の創出や地域を守り活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける必要がある。

- ・基本目標1 安定した雇用を創出する
- ・基本目標2 新しいひとの流れをつくる
- ・基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心・安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

【数値目標】

5-2 の①に 掲げる 事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市内民営事業所従業者数	9,174人	9,518人	基本目標1
イ	移動数(転入-転出)	10人	0人	基本目標2
ウ	合計特殊出生率	1.38	1.76	基本目標3
エ	自主防災組織率	68.5%	72%	基本目標4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要
5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

天文のまちあさくちまち・ひと・しごと創生推進事業

ア 安定した雇用を創出する事業

イ 新しいひとの流れをつくる事業

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ 時代に合った地域をつくり、安心・安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する事業

② 事業の内容

ア 安定した雇用を創出する事業

商工業のイノベーション促進や創業・起業の支援、製品のブランド化、6次産業化と担い手の育成推進、「儲かる農業」「儲かる漁業」の実現・拡大、工業団地の整備、女性や高齢者が生き生きと活躍できる雇用環境を充実するなど、新たな雇用を創出する事業。

【具体的な事業】

- ・農林漁業担い手就業事業
- ・創業支援事業
- ・工業団地の整備
- ・販路開拓等の支援 等

イ 新しいひとの流れをつくる事業

町への誇りを持てる学習活動の推進等による、本市出身者の還流、住環境・子育て環境の整備による移住・定住促進策の展開、観光資源の発掘・ブラッシュアップ、大都市圏への戦略的PRの実施など、交流・関係人口の増加を図り、新しい「ひと」の流れをつくる事業

【具体的な事業】

- ・空き家情報バンクによる住宅情報提供事業
- ・浅口ふれあい号運行事業
- ・コミュニティ・スクールの充実
- ・子ども農山漁村交流事業
- ・あさくち土産開発支援事業 等

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

出会いの場・機会の創出等の結婚支援策の推進、出産・子育てしやすい環境の整備等により、結婚からの切れ目ない支援を実施し、出産・子育て世代の希望をかなえる事業

【具体的な事業】

- ・縁結びサポーターによる婚活支援事業
- ・子ども医療費給付事業
- ・あかちゃん訪問事業
- ・地域子育て支援拠点事業
- ・地域学校共同活動事業 等

エ 時代に合った地域をつくり、安心・安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する事業

安心・安全な生活を営むための生活基盤の整備や維持、防災・防犯等の地域自主組織の拡充や消防団の活性化等、安心・安全な地域づくりを推進する事業のほか、地域のリーダー育成、持続可能な地域コミュニティの自立・共生のための支援等、地域と地域の連携を推進する事業

【具体的な事業】

- ・既設防犯灯のLED化
- ・防犯カメラ設置事業
- ・消防設備・資機材の整備拡充・自主防災組織の設立促進
- ・市民提案型協働事業
- ・高齢者支え合いサポーター事業の充実 等

※なお、詳細は第2期「浅口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のとおり。

※なお、地域再生計画「おいでよ！はまるよ！天文のまちあさくちPR計画」の5-2の③に位置付けられた事業を除く。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

50,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

KPIの達成状況を確認し、事業の効果を検証するため、毎年度3月末時点の各指標の集計を行い、8月に外部有識者を交えた検証会議

において結果について評価を行う。検証後速やかに市ホームページにより公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで